hinoko

Leitura em japonês N5: 15 histórias curtas com perguntas

Histórias em japonês escritas para o JLPT N5, com furigana, perguntas de compreensão, respostas e traduções.

1. Leia cada texto primeiro sem a tradução. Cada kanji tem seus furigana.
2. Responda às perguntas e confira as respostas no fim do livreto.
3. Leia a tradução por último, para ver o que você entendeu.

Grátis: imprima e compartilhe. www.hinoko-japanese.com

Teste de leitura no formato do JLPT

TEXTO 1

マリアさんから ゆうこさんへの メモです。

ゆうこさんへ

あしたの パーティーは 六時(ろくじ)からです。

わたしは 五時(ごじ)に えきの 前(まえ)で まって います。いっしょに 行(い)きましょう。

ケーキは わたしが かいます。ゆうこさんは のみものを かって きて ください。

マリア

1. ゆうこさんは あした 何(なに)を しますか。

1 六時(ろくじ)に えきの 前(まえ)で マリアさんを まちます。

2 ケーキを かって、パーティーに 行(い)きます。

3 のみものを かって、五時(ごじ)に えきの 前(まえ)へ 行(い)きます。

4 マリアさんと いっしょに ケーキを かいます。

TEXTO 2

リーさんが 書いた さくぶんです。

わたしは 先月、日本に 来ました。いまは 大学の ちかくの アパートに すんで います。

きのうは 日よう日でした。あさ、となりの へやの 山下さんと 川の そばを さんぽしました。川の 水は とても きれいでした。

ひるごはんは 山下さんの へやで 食べました。山下さんが カレーを つくりました。すこし からかったですが、おいしかったです。

午後は 一人で 本やへ 行って、日本語の 本を 二さつ かいました。こんばんから 毎日 すこしずつ 読みます。

2. リーさんは きのうの 午後、何を しましたか。

1 一人で 本を かいに 行きました。

2 山下さんの へやで カレーを 食べました。

3 山下さんと さんぽしました。

4 日本語の 本を 二さつ 読みました。

3. 山下さんの カレーは どうでしたか。

1 あまり からくなかったです。

2 からかったので、食べませんでした。

3 からくなかったですが、あまり おいしくなかったです。

4 すこし からかったですが、おいしかったです。

Histórias

HISTÓRIA 1

小(ちい)さな 友(とも)だち

Um amiguinho

ひのこは 小(ちい)さくて あおいです。 山(やま)の 上(うえ)の 小(ちい)さい いえに 一人(ひとり)で すんでいます。

ひのこは 本(ほん)が 大(だい)すきです。 毎日(まいにち)、まどの そばで 本(ほん)を 読(よ)みます。

でも、雨(あめ)は きらいです。

今日(きょう)は あさから 雨(あめ)が ふっています。 外(そと)は くらくて、さむいです。

ひのこは いえの 中(なか)で 本(ほん)を 読(よ)んでいます。

「すみません……」

ドアの 外(そと)に だれか います。 ひのこは ドアを あけます。 小(ちい)さくて 白(しろ)い ねこです。 ねこの からだは とても つめたいです。

ねこは 小(ちい)さい こえで いいます。「さむいです……」

「どうぞ、入(はい)って ください」

ひのこの ちかくは あたたかいです。 ねこは そこで すこし ねます。

それから、ねこは あたたかい おちゃを のみます。

「ありがとう。また 来(き)ても いいですか」「はい、また 来(き)て ください」

ひのこは 雨(あめ)が きらいでした。 でも、今日(きょう)の 雨(あめ)は すこし すきです。

Perguntas

1. ひのこは 何(なに)が きらいでしたか。

Do que Hinoko não gostava?

1 本(ほん)

2 雨(あめ)

3 ねこ

4 おちゃ

2. ドアの 外(そと)に だれが いましたか。

Quem estava do lado de fora da porta?

1 白(しろ)い ねこ

2 白(しろ)い いぬ

3 あおい ねこ

4 女(おんな)の子(こ)

3. ねこは ひのこの いえで 何(なに)を しましたか。

O que o gato fez na casa da Hinoko?

1 本(ほん)を 読(よ)みました。

2 山(やま)へ 行(い)きました。

3 雨(あめ)の 中(なか)で あそびました。

4 おちゃを のみました。

HISTÓRIA 2

コンビニの おにぎり

O onigiri do konbini

けんは まいあさ、えきの ちかくの コンビニで おにぎりを 一(ひと)つ
かいます。 今日(きょう)は、おにぎりが あと 一(ひと)つです。
となりで、小(ちい)さい おばあさんも その おにぎりを 見(み)ています。「どうぞ」
けんは おばあさんに おにぎりを わたします。「どうも
ありがとう」 今日(きょう)の あさごはんは パンです。
つぎの あさ、コンビニの やまださんが けんに 小(ちい)さい ふくろを
わたします。「これ、母(はは)からです」 ふくろの 中(なか)には、大(おお)きい
おにぎりが 二(ふた)つと、てがみが あります。「きのうは ありがとう」

Perguntas

1. けんの 今日(きょう)の あさごはんは 何(なん)ですか。

Qual é o café da manhã de Ken hoje?

1 おにぎり
2 パン
3 おかし
4 ラーメン

2. やまださんの ふくろの 中(なか)に 何(なに)が ありますか。

O que há no saquinho de Yamada-san?

1 大(おお)きい おにぎりと てがみ
2 大(おお)きい パンと てがみ
3 小(ちい)さい おにぎりと パン
4 大(おお)きい おにぎりと パン

3. 小(ちい)さい おばあさんは だれですか。

Quem é a senhorinha?

1 けんの お母(かあ)さん
2 やまださんの おばあさん
3 やまださんの お母(かあ)さん
4 けんの おばあさん

HISTÓRIA 3

にちようびの 学校

Um domingo na escola

けんは ベッドで とけいを 見ました。 もう 八時でした！

けんは えきへ はしりました。 でも、けんの めの 前で、電車の ドアが しまりました。 つぎの 電車で 学校へ 行きました。

学校は とても しずかでした。 もんの 上に くろい ねこが いました。

「ねこさん、学校は 休みですか」

けんは スマホを 見ました。 今日は にちようびでした！

いえで、けんは あさごはんを たくさん 食べました。 そして、十時に また ねました。

Perguntas

1. もんの 上に 何が いましたか。

O que havia em cima do portão?

1 くろい いぬ
2 くろい ねこ
3 白い ねこ
4 白い いぬ

2. けんは 学校へ どうやって 行きましたか。

Como Ken foi para a escola?

1 バスで
2 車で
3 電車で
4 じてんしゃで

3. けんは 何時に また ねましたか。

A que horas Ken voltou a dormir?

1 八時
2 十時
3 十一時
4 十二時

HISTÓRIA 4

えきの でぐち

A saída da estação

エマは とうきょうの 大(おお)きい えきに いました。 でぐちが たくさん ありました。 でも、北(きた)ぐちは 分(わ)かりませんでした。

となりに 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)が いました。「すみません。北(きた)ぐちは どこですか」 男(おとこ)の子(こ)は 小(ちい)さい こえで いいました。

「分(わ)かりません……。お母(かあ)さんは 北(きた)ぐちに います」

「じゃあ、いっしょに 行(い)きましょう」

東(ひがし)ぐち、西(にし)ぐち、南(みなみ)ぐち……。 そして、北(きた)ぐちに お母(かあ)さんが いました。

男(おとこ)の子(こ)は 大(おお)きい こえで いいました。「おねえさん、北(きた)ぐちは ここですよ！」

Perguntas

1. エマは だれに 聞(き)きましたか。

A quem Emma perguntou o caminho?

1 小(ちい)さい 女(おんな)の子(こ)
2 男(おとこ)の子(こ)の お母(かあ)さん
3 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)
4 大(おお)きい 男(おとこ)の子(こ)

2. 男(おとこ)の子(こ)の お母(かあ)さんは どこに いましたか。

Onde estava a mãe do menino?

1 北(きた)ぐち
2 南(みなみ)ぐち
3 東(ひがし)ぐち
4 西(にし)ぐち

3. エマは どこに いましたか。

Onde Emma estava?

1 きょうとの 大(おお)きい えき
2 とうきょうの 小(ちい)さい えき
3 きょうとの 小(ちい)さい えき
4 とうきょうの 大(おお)きい えき

HISTÓRIA 5

お父さんの カレー

O curry do pai

にちようびの ばん、お父さんが だいどころに います。 はじめて カレーを つくります。

「いただきます！」 お父さんの カレーは、とても からいです。

お母さんと ゆいは 水を たくさん のみます。

ゆいの おとうとの そらは、まだ 六さいです。 でも、カレーを ぜんぶ 食べます。「おいしい！カレーを もっと ください！」

つぎの にちようび、そらは お父さんに いいます。「また カレーを つくって ください。もっと からい カレーが いい！」 お母さんと ゆいは 大きい コップに 水を 入れます。

Perguntas

1. だれが 水を たくさん のみますか。

Quem toma muita água?

1 お父さんと そら
2 お父さんと お母さん
3 ゆいと そら
4 お母さんと ゆい

2. そらは 何さいですか。

Quantos anos Sora tem?

1 三さい
2 五さい
3 六さい
4 九さい

3. つぎの にちようび、そらは お父さんに 何を いいますか。

No domingo seguinte, o que Sora diz para o pai?

1 「もっと からい カレーが いい」
2 「もっと あまい カレーが いい」
3 「もっと 大きい コップが いい」
4 「もっと つめたい 水が いい」

HISTÓRIA 6

ゆうめいな ラーメン

Um lámen famoso

休(やす)みの日(ひ)、エマと けんは ゆうめいな ラーメンの みせへ 行(い)きました。

みせの 前(まえ)には 人(ひと)が たくさん ならんでいました。 二人(ふたり)も 一時間(いちじかん)

ならびました。

でも、ドアの 前(まえ)で、みせの 人(ひと)が いいました。「すみません。今日(きょう)は もう

スープが ありません」

エマは となりの 小(ちい)さくて ふるい みせを 見(み)ました。「あの

みせに 入(はい)りましょう」

小(ちい)さい みせには、おきゃくさんが いませんでした。「おいしい！」

けんは 二(に)はい 食(た)べました。

つぎの 休(やす)みの日(ひ)、二人(ふたり)は また 小(ちい)さい みせへ 行(い)きました。 でも、小(ちい)さい

みせの 前(まえ)にも 人(ひと)が たくさん ならんでいました。「また 一時間(いちじかん)ですね」

Perguntas

1. 二人(ふたり)は ゆうめいな みせの 前(まえ)で 何時間(なんじかん) ならびましたか。

Quantas horas os dois ficaram na fila na frente do restaurante famoso?

1 一時間(いちじかん)　　**2** 二時間(にじかん)

3 五時間(ごじかん)　　**4** 十時間(じゅうじかん)

2. 二人(ふたり)は どこで ラーメンを 食(た)べましたか。

Onde os dois comeram lámen?

1 ゆうめいな みせで　　**2** 小(ちい)さい みせで

3 えきの 前(まえ)で　　**4** けんの うちで

3. つぎの 休(やす)みの日(ひ)、小(ちい)さい みせの 前(まえ)は どうでしたか。

No dia de folga seguinte, como estava na frente do restaurante pequeno?

1 人(ひと)が たくさん いました。　　**2** 人(ひと)が いませんでした。

3 人(ひと)が すこし いました。　　**4** みせが 休(やす)みでした。

HISTÓRIA 7

シロの はな

A flor de Shiro

白(しろ)い ねこの シロは、毎日(まいにち) ひのこの いえに 来(き)ます。 今日(きょう)は、シロの くちに はなが あります。 小(ちい)さくて あおい はなです。

シロは ひのこの 前(まえ)に はなを おきます。「どうぞ」

「わあ、きれい！ありがとう、シロ。水(みず)に 入(い)れましょう」

でも、水(みず)は ひのこには あぶないです。 シロが コップに 水(みず)を 入(い)れます。

そして、はなを コップに 入(い)れます。

「シロは あおい はなが すきですか」「はい、大(だい)すきです。ひのこと おなじ いろです」

Perguntas

1. シロは ひのこの 前(まえ)に 何(なに)を おきますか。

O que Shiro coloca na frente de Hinoko?

1 白(しろ)い はな
2 あおい はな
3 あおい コップ
4 白(しろ)い コップ

2. ひのこには 何(なに)が あぶないですか。

O que é perigoso para Hinoko?

1 コップ
2 はな
3 シロ
4 水(みず)

3. シロは どうして あおい はなが 大(だい)すきですか。

Por que Shiro adora flores azuis?

1 ひのこと おなじ いろですから。
2 水(みず)と おなじ いろですから。
3 シロと おなじ いろですから。
4 コップと おなじ いろですから。

HISTÓRIA 8

ねこの きって

Selos de gato

ゆいは とおい ひろしまの おばあさんに てがみを 書(か)きました。

それから、ゆうびんきょくへ てがみを 出(だ)しに 行(い)きました。

ゆうびんきょくには、ねこの きってと、いぬの きってが ありました。

ゆいは ねこの きってを 十(じゅう)まい かって、ぜんぶ ふうとうに はりました。

ゆうびんきょくの 人(ひと)は その ふうとうを 見(み)て、いいました。「ねこが たくさん いますね」「はい。そぼは ねこが 大(だい)すきですから」

十日(とおか) あとに、ひろしまの おばあさんから てがみが 来(き)ました。

ふうとうには、いぬの きってが 十(じゅう)まい ありました。 ゆいは いぬが 大(だい)すきです。 おばあさんは それを よく しっています。

Perguntas

1. おばあさんの てがみは いつ 来(き)ましたか。

Quando chegou a carta da avó?

1 三日(みっか) あと
2 五日(いつか) あと
3 七日(なのか) あと
4 十日(とおか) あと

2. ゆいは ふうとうに きってを 何(なん)まい はりましたか。

Quantos selos Yui colou no envelope?

1 一(いち)まい
2 二(に)まい
3 五(ご)まい
4 十(じゅう)まい

3. おばあさんの ふうとうには、何(なん)の きってが ありましたか。

Que selos havia no envelope da avó?

1 いぬの きって
2 ねこの きって
3 とりの きって
4 はなの きって

HISTÓRIA 9

マリアの え

O desenho de Maria

ゆいの クラスに、あたらしい せいとが 来(き)ました。

「マリアです。ブラジルから 来(き)ました。よろしく おねがいします」

マリアは しずかで、あまり 話(はな)しませんでした。 ひるごはんも いつも 一人(ひとり)で 食(た)べていました。

えいごの じゅぎょうで、マリアは ノートに えを かいていました。 先生(せんせい)が マリアの つくえの 前(まえ)で とまりました。 ノートには、先生(せんせい)の かおの えが ありました。 クラスの みんなが 先生(せんせい)を 見(み)ていました。

「これは わたしですか」「はい……すみません」 先生(せんせい)は えを よく 見(み)て、いいました。「とても じょうずですね！クラスの みんなの かおも かきませんか」

その ひるやすみ、マリアの つくえの 前(まえ)に、みんなが ならんでいました。

マリアの ひるごはんは、とても にぎやかでした。

Perguntas

1. マリアは どこから 来(き)ましたか。

De onde Maria veio?

1 ベトナム
2 タイ
3 ブラジル
4 フィリピン

2. マリアは ノートに 何(なに)を かいていましたか。

O que Maria estava desenhando no caderno?

1 ゆいの かお
2 先生(せんせい)の かお
3 じぶんの かお
4 ねこの かお

3. ひるやすみに、だれが マリアの つくえの 前(まえ)に ならんでいましたか。

No intervalo do almoço, quem estava fazendo fila na frente da carteira de Maria?

1 ゆい 一人(ひとり)
2 男(おとこ)の子(こ) 二人(ふたり)
3 女(おんな)の子(こ) 二人(ふたり)
4 クラスの みんな

HISTÓRIA 10

うみへ 行(い)く バス

O ônibus que vai para o mar

けんは はいしゃが きらいです。 今日(きょう)は バスに のって、はいしゃへ 行(い)きます。 でも、それは ちがう バスです。 けんは スマホで ゲームを しています。

「つぎは しゅうてんです」 けんは まどの 外(そと)を 見(み)ます。「……うみ？」

けんは バスを おりて、うみの 前(まえ)に たちます。 うみは あおくて、とても きれいです。 かぜも すずしいです。 けんは しゃしんを とって、お母(かあ)さんに メールします。

すぐに お母(かあ)さんから メールが 来(き)ます。「はいしゃは？」「……あしたに します」

Perguntas

1. けんは バスの 中(なか)で 何(なに)を していますか。

O que Ken está fazendo no ônibus?

1 おかしを 食(た)べています

2 本(ほん)を 読(よ)んでいます

3 ゲームを しています

4 しゃしんを とっています

2. けんは だれに メールしますか。

Para quem Ken manda uma mensagem?

1 お父(とう)さん

2 ゆい

3 お母(かあ)さん

4 はいしゃ

3. けんは いつ はいしゃへ 行(い)きますか。

Quando Ken vai ao dentista?

1 今日(きょう)

2 あした

3 あさって

4 らいしゅう

HISTÓRIA 11

ポチは どこ？

Onde está Pochi?

「ポチ！ポチ！」 ゆいが にわで いぬの ポチを よんでいます。

でも、ポチが いません。

お父さんと お母さんも 来て、みんなで さがします。 いっしょに すんでいる おばあさんは かいものに 行っています。 お父さんは こうえんへ 行って、そらは ベッドの 下を 見ています。 お母さんが いいます。「そら、ポチは 大きいから、そこには いないよ」 そらは ないています。

ゆうがた、おばあさんが かいものから かえります。「ただいま」

おばあさんの 後ろに、ポチが います！ 「ポチは スーパーまで いっしょに 来て、みせの 前で まっていたよ」

その ばん、そらは ポチの そばで ねます。

Perguntas

1. お父(とう)さんは どこへ 行(い)きますか。

Aonde o pai vai?

1 スーパー

2 こうえん

3 学校(がっこう)

4 えき

2. ゆうがた、だれが かいものから かえりますか。

No fim da tarde, quem volta das compras?

1 お父(とう)さん

2 お母(かあ)さん

3 ゆい

4 おばあさん

3. ポチは どこで まっていましたか。

Onde Pochi estava esperando?

1 スーパーの 前(まえ)

2 こうえんの 前(まえ)

3 学校(がっこう)の 前(まえ)

4 えきの 前(まえ)

HISTÓRIA 12

えいがかんで

No cinema

にちようび、けんと エマは えいがを 見(み)に 行(い)きました。

えいがかんで、けんは こわい えいがの チケットを 二(に)まい かいました。

「けんさん、こわい えいがは だいじょうぶですか」

「だいじょうぶ。大(だい)すきだから」

えいがかんの 中(なか)は くらくて、しずかでした。 こわい ところで、エマは となりの けんを 見(み)ました。 けんは めを とじていました。

「けんさん、めを あけて ください」「あけているよ！」 でも、けんは はじめから おわりまで、めを あけませんでした。

えいがの あと、けんは 大(おお)きい こえで いいました。「いい えいがだったね！」「そうですね。けんさんは どこが すきでしたか」

「……らいしゅう、また 見(み)に 行(い)きませんか」

Perguntas

1. けんと エマは いつ えいがを 見(み)に 行(い)きましたか。

Quando Ken e Emma foram ver um filme?

1 どようび

2 にちようび

3 げつようび

4 きんようび

2. けんは えいがかんで 何(なに)を していましたか。

O que Ken estava fazendo no cinema?

1 スマホを 見(み)ていました。

2 めを とじていました。

3 本(ほん)を 読(よ)んでいました。

4 えいがを 見(み)ていました。

3. けんは えいがを ぜんぶ 見(み)ましたか。

Ken viu o filme inteiro?

1 ぜんぶ 見(み)ました。

2 半分(はんぶん) 見(み)ました。

3 こわい ところだけ 見(み)ませんでした。

4 何(なに)も 見(み)ませんでした。

HISTÓRIA 13

ゆきの ねこ

O gato de neve

今日(きょう)は あさから ゆきが ふっています。 ゆきは ひのこには
あぶないですから、ひのこは 外(そと)に 出(で)ません。

シロは 外(そと)で あそんでいます。 ひのこは まどから 外(そと)を 見(み)ます。

「シロ、どこ？」

白(しろ)い ゆきの 中(なか)に、めが 二(ふた)つ あります。 シロの めです。

シロは まどの 前(まえ)で、小(ちい)さい ゆきの ねこを つくって、ひのこに 見(み)せます。

「かわいい！シロと おなじだね」

それから、シロは いえに 入(はい)ります。 シロの あしは とても つめたいです。

ひのこは その あしを あたためます。

「ゆきの ねこも 中(なか)に 入(い)れる？外(そと)は さむいから」「だめ！ここは
あたたかいから」

Perguntas

1. シロは 外(そと)で 何(なに)を していますか。

O que Shiro está fazendo lá fora?

1 ねています。

2 本(ほん)を 読(よ)んでいます。

3 あそんでいます。

4 おちゃを のんでいます。

2. 白(しろ)い ゆきの 中(なか)に 何(なに)が ありますか。

O que há na neve branca?

1 シロの め

2 ひのこの め

3 小(ちい)さい はな

4 あおい コップ

3. だれが シロの あしを あたためますか。

Quem esquenta as patas de Shiro?

1 ゆきの ねこ

2 ひのこ

3 シロ

4 ひのこと シロ

HISTÓRIA 14

おなじ かさ

O mesmo guarda-chuva

あさから 雨(あめ)が ふっていました。 エマは コンビニで かさを かって、きっさてんへ 行(い)きました。 みせに 入(はい)る 前(まえ)に、かさを いりぐちに おきました。 中(なか)で コーヒーを のんで、本(ほん)を 読(よ)みました。

みせを 出(で)る とき、いりぐちには おなじ かさが たくさん ありました。 エマは ちかくに あった かさを とりました。 いえに かえってから、エマは その かさを よく 見(み)ました。 かさには 小(ちい)さい ねこの えが ありました。 エマの かさではありませんでした。

つぎの あさ、エマは その かさを もって、きっさてんへ 行(い)きました。 みせの 前(まえ)で、高校生(こうこうせい)の 女(おんな)の子(こ)が まっていました。「それ、わたしの かさです！これは あなたの かさですか」「はい……たぶん」「コンビニの かさは ぜんぶ おなじですから、えが あった ほうが いいですよ」

それから、二人(ふたり)は 友(とも)だちに なりました。 今(いま)は、エマの かさにも、友(とも)だちが かいた 小(ちい)さい ねこの えが あります。

Perguntas

1. エマは かさを どこに おきましたか。

Onde Emma deixou o guarda-chuva?

1 きっさてんの 中(なか)

2 コンビニの いりぐち

3 きっさてんの いりぐち

4 コンビニの 中(なか)

2. エマが とった かさには、何(なん)の えが ありましたか。

Que desenho havia no guarda-chuva que Emma pegou?

1 ねこの え

2 いぬの え

3 とりの え

4 はなの え

3. つぎの あさ、みせの 前(まえ)で だれが まっていましたか。

Na manhã seguinte, quem estava esperando em frente à cafeteria?

1 高校生(こうこうせい)の 男(おとこ)の子(こ)

2 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)

3 小(ちい)さい 女(おんな)の子(こ)

4 高校生(こうこうせい)の 女(おんな)の子(こ)

HISTÓRIA 15

みじかい えんぴつ

O lápis curto

今日(きょう)は えいごの テストです。 テストの 前(まえ)に、けんは かばんを あけます。

えんぴつが ありません！ 「えんぴつを いえに わすれた……」

となりの ゆいが、けんに とても みじかい えんぴつを かします。

「つぎは、わすれない ほうが いいよ」

テストの とき、けんは えんぴつを 見(み)ます。 えんぴつに ことばが

あります。「がんばって ください」 けんは げんきに なります。

テストが おわってから、けんは ゆいに えんぴつを かえします。

そして、つぎの あさ、あたらしい 長(なが)い えんぴつも わたします。 長(なが)い

えんぴつにも、けんの ことばが あります。「ありがとう。つぎは

わすれないよ」

ゆいは その えんぴつを まだ つかっていません。 その

えんぴつは、今(いま)も 長(なが)いです。

Perguntas

1. けんは えんぴつを どこに わすれましたか。

Onde Ken esqueceu os lápis?

1 けんの いえ

2 ゆいの いえ

3 学校(がっこう)の つくえ

4 電車(でんしゃ)の 中(なか)

2. みじかい えんぴつには、どんな ことばが ありますか。

O que está escrito no lápis curto?

1 がんばって ください

2 つぎは わすれないよ

3 よろしく おねがいします

4 ありがとうございます

3. ゆいは あたらしい 長(なが)い えんぴつを つかっていますか。

Yui usa o lápis novo e comprido?

1 はい、毎日(まいにち) つかっています。

2 はい、テストで つかいました。

3 いいえ、けんに かえしました。

4 いいえ、まだ つかっていません。

Respostas

Teste de leitura no formato do JLPT
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

História 1 (Um amiguinho)
1. 2 · 2. 1 · 3. 4

História 2 (O onigiri do konbini)
1. 2 · 2. 1 · 3. 3

História 3 (Um domingo na escola)
1. 2 · 2. 3 · 3. 2

História 4 (A saída da estação)
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

História 5 (O curry do pai)
1. 4 · 2. 3 · 3. 1

História 6 (Um lámen famoso)
1. 1 · 2. 2 · 3. 1

História 7 (A flor de Shiro)
1. 2 · 2. 4 · 3. 1

História 8 (Selos de gato)
1. 4 · 2. 4 · 3. 1

História 9 (O desenho de Maria)
1. 3 · 2. 2 · 3. 4

História 10 (O ônibus que vai para o mar)
1. 3 · 2. 3 · 3. 2

História 11 (Onde está Pochi?)
1. 2 · 2. 4 · 3. 1

História 12 (No cinema)
1. 2 · 2. 2 · 3. 4

História 13 (O gato de neve)
1. 3 · 2. 1 · 3. 2

História 14 (O mesmo guarda-chuva)
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

História 15 (O lápis curto)
1. 1 · 2. 1 · 3. 4

279 histórias do N5 ao N2, com áudio, dicionário em cada palavra e revisão, na web e no app hinoko: www.hinoko-japanese.com

Traduções

Teste de leitura no formato do JLPT, Texto 1

Um bilhete da Maria para a Yuko.

Yuko,

A festa de amanhã começa às seis.

Vou te esperar em frente à estação às cinco. Vamos juntas.

Eu compro o bolo. Você compra as bebidas e traz, por favor.

Maria

Teste de leitura no formato do JLPT, Texto 2

Uma redação do Li.

Cheguei ao Japão no mês passado. Agora moro num apartamento perto da universidade.

Ontem foi domingo. De manhã, passeei à beira do rio com o Yamashita, meu vizinho de quarto. A água do rio estava muito limpa.

Almoçamos no quarto do Yamashita, que fez curry. Estava um pouco apimentado, mas gostoso.

À tarde, fui sozinho à livraria e comprei dois livros em japonês. A partir de hoje à noite, vou ler um pouco todos os dias.

História 1: Um amiguinho

Hinoko é pequena e azul. Ela mora sozinha numa casinha na montanha.

Hinoko adora livros. Todos os dias, ela lê perto da janela. Mas de chuva ela não gosta.

Hoje está chovendo desde a manhã. Lá fora está escuro e frio. Hinoko está lendo um livro dentro de casa.

“Com licença…”

Tem alguém do lado de fora da porta. Hinoko abre a porta. É um gatinho branco. O corpo do gato está muito frio.

O gato diz com uma vozinha: “Estou com frio…”

“Entre, por favor.”

Perto da Hinoko é quentinho. O gato dorme um pouco ali. Depois, o gato toma um chá quentinho.

“Obrigado. Posso voltar?” “Sim, volte sempre.”

Hinoko não gostava de chuva. Mas da chuva de hoje ela gosta um pouco.

História 2: O onigiri do konbini

Toda manhã, Ken compra um onigiri no konbini perto da estação. Hoje, só sobrou um onigiri.

Ao lado dele, uma senhorinha também está olhando para esse onigiri. “Pode pegar.” Ken entrega o onigiri para a senhorinha. “Muito obrigada.” Hoje, o café da manhã vai ser pão.

Na manhã seguinte, Yamada-san, do konbini, entrega um saquinho para Ken. “Isto aqui é da minha mãe.” Dentro do saquinho, há dois onigiris grandes e uma carta. “Obrigada por ontem.”

História 3: Um domingo na escola

Na cama, Ken olhou o relógio. Já eram oito horas!

Ken correu até a estação. Mas as portas do trem se fecharam bem na frente dele. Ele foi para a escola no trem seguinte.

A escola estava muito silenciosa. Em cima do portão, havia um gato preto. “Senhor Gato, hoje não tem aula?”

Ken olhou o celular. Era domingo!

Em casa, Ken comeu bastante no café da manhã. Depois, às dez horas, voltou a dormir.

História 4: A saída da estação

Emma estava numa estação grande de Tóquio. Havia muitas saídas. Mas ela não conseguia achar a saída norte.

Ao lado dela, havia um menino pequeno. “Com licença, onde fica a saída norte?” O menino disse baixinho: “Não sei… A minha mãe está na saída norte.” “Então vamos juntos.”

A saída leste, a saída oeste, a saída sul… E, na saída norte, estava a mãe dele.

O menino disse em voz alta: “Moça, a saída norte é aqui!”

História 5: O curry do pai

Domingo à noite, o pai está na cozinha. Ele está fazendo curry pela primeira vez.

“Bom apetite!” O curry do pai é muito apimentado. A mãe e Yui tomam muita água.

Sora, o irmãozinho de Yui, tem só seis anos. Mas ele come o curry todo. “Que gostoso! Mais curry, por favor!”

No domingo seguinte, Sora diz para o pai: “Faz curry de novo, por favor. Quero um ainda mais apimentado!” A mãe e Yui enchem copos grandes de água.

História 6: Um lámen famoso

Num dia de folga, Emma e Ken foram a um restaurante de lámen famoso. Na frente do restaurante, havia muita gente na fila. Os dois também ficaram uma hora na fila.

Mas, na porta, um funcionário do restaurante disse: “Desculpem. Hoje o caldo já acabou.”

Emma olhou o restaurante pequeno e velho ao lado. “Vamos entrar naquele restaurante.”

No restaurante pequeno, não havia nenhum cliente. “Que delícia!” Ken comeu duas tigelas.

No dia de folga seguinte, os dois voltaram ao restaurante pequeno. Mas, na frente do restaurante pequeno também, havia muita gente na fila. “Mais uma hora, hein…”

História 7: A flor de Shiro

Shiro, o gato branco, vem à casa de Hinoko todos os dias. Hoje, Shiro está com uma flor na boca. É uma flor pequena e azul.

Shiro coloca a flor na frente de Hinoko. “Para você.”

“Nossa, que linda! Obrigada, Shiro. Vamos colocar na água.”

Mas a água é perigosa para Hinoko. É Shiro quem coloca água num copo. Depois, coloca a flor no copo.

“Shiro, você gosta de flores azuis?” “Sim, adoro. Elas são da mesma cor que você.”

História 8: Selos de gato

Yui escreveu uma carta para a avó, que mora longe, em Hiroshima. Depois, foi ao correio mandar a carta. No correio, havia selos de gato e selos de cachorro. Yui comprou dez selos de gato e colou todos no envelope.

O funcionário do correio olhou o envelope e disse: “Quantos gatos!” “Sim. É que a minha avó adora gatos.”

Dez dias depois, chegou uma carta da avó de Hiroshima. No envelope, havia dez selos de cachorro. Yui adora cachorros. A avó sabe muito bem disso.

História 9: O desenho de Maria

Chegou uma aluna nova na turma de Yui. “Meu nome é Maria. Vim do Brasil. Muito prazer.”

Maria era quieta e não falava muito. E, no almoço, ela sempre comia sozinha.

Na aula de inglês, Maria estava desenhando no caderno. O professor parou na frente da carteira de Maria. No caderno, havia um desenho do rosto do professor. A turma toda estava olhando para o professor.

“Este sou eu?” “Sim… Desculpe.” O professor olhou bem o desenho e disse: “Você desenha muito bem! Que tal desenhar também o rosto de todos da turma?”

No intervalo do almoço daquele dia, todo mundo estava fazendo fila na frente da carteira de Maria. O almoço de Maria foi muito animado.

História 10: O ônibus que vai para o mar

Ken não gosta de dentista. Hoje, ele pega o ônibus para ir ao dentista. Mas é o ônibus errado. Ken está jogando no celular.

“Próxima parada: ponto final.” Ken olha pela janela. “… O mar?”

Ken desce do ônibus e fica de frente para o mar. O mar é azul e muito bonito. O vento também está fresquinho. Ken tira uma foto e manda para a mãe.

Logo chega uma mensagem da mãe. “E o dentista?” “… Fica para amanhã.”

História 11: Onde está Pochi?

“Pochi! Pochi!” Yui está chamando o cachorro Pochi no jardim. Mas Pochi não está lá.

O pai e a mãe também vêm, e todos procuram juntos. A vovó, que mora com eles, saiu para fazer compras. O pai vai ao parque, e Sora está olhando debaixo da cama. A mãe diz: “Sora, Pochi é grande, então não está aí embaixo.” Sora está chorando.

No fim da tarde, a vovó volta das compras. “Cheguei!” Atrás da vovó, lá está Pochi! “Pochi foi comigo até o supermercado e ficou me esperando na frente da loja.”

Naquela noite, Sora dorme ao lado de Pochi.

História 12: No cinema

No domingo, Ken e Emma foram ver um filme. No cinema, Ken comprou dois ingressos para um filme de terror. “Ken, você aguenta filme de terror?” “Sem problema. Eu adoro!”

Dentro do cinema, estava escuro e silencioso. Numa parte assustadora, Emma olhou para Ken, ao lado dela. Ken estava de olhos fechados. “Ken, abra os olhos.” “Estão abertos!” Mas, do começo ao fim, Ken não abriu os olhos.

Depois do filme, Ken disse em voz alta: “Foi um bom filme, né?” “É mesmo. De que parte você gostou, Ken?” “… Vamos ver de novo na semana que vem?”

História 13: O gato de neve

Hoje está nevando desde a manhã. A neve é perigosa para Hinoko, então ela não sai.

Shiro está brincando lá fora. Hinoko olha para fora pela janela. “Shiro, cadê você?”

Na neve branca, há dois olhos. São os olhos de Shiro.

Na frente da janela, Shiro faz um gatinho de neve e mostra para Hinoko. “Que fofo! É igual a você!”

Depois, Shiro entra em casa. As patas de Shiro estão muito geladas. Hinoko esquenta as patas dele.

“Vamos trazer o gato de neve para dentro também? Lá fora está frio.” “Não! Aqui dentro está quente.”

História 14: O mesmo guarda-chuva

Estava chovendo desde a manhã. Emma comprou um guarda-chuva num konbini e foi a uma cafeteria. Antes de entrar, ela deixou o guarda-chuva na entrada. Lá dentro, tomou um café e leu um livro.

Na hora de sair, havia muitos guarda-chuvas iguais na entrada. Emma pegou um guarda-chuva que estava perto. Depois de chegar em casa, Emma olhou bem o guarda-chuva. No guarda-chuva, havia o desenho de um gatinho. Não era o guarda-chuva de Emma.

Na manhã seguinte, Emma foi à cafeteria com esse guarda-chuva. Em frente à cafeteria, uma garota do ensino médio estava esperando. “Esse guarda-chuva é meu! E este aqui, é seu?” “Sim… acho que sim.” “Os guarda-chuvas de konbini são todos iguais, então é melhor ter um desenho.”

Depois disso, as duas ficaram amigas. Agora, o guarda-chuva de Emma também tem um gatinho, desenhado pela amiga.

História 15: O lápis curto

Hoje tem prova de inglês. Antes da prova, Ken abre a mochila. Não tem nenhum lápis! “Esqueci os lápis em casa…”

Yui, que se senta ao lado dele, empresta para Ken um lápis bem curto. “Da próxima vez, é melhor não esquecer.”

Durante a prova, Ken olha o lápis. No lápis, há algumas palavras. “Boa sorte!” Ken se anima.

Depois da prova, Ken devolve o lápis para Yui. E, na manhã seguinte, também dá para ela um lápis novo e comprido. No lápis comprido também há palavras de Ken. “Obrigado. Da próxima vez, não vou esquecer.”

Yui ainda não usou esse lápis. Até hoje, ele continua comprido.